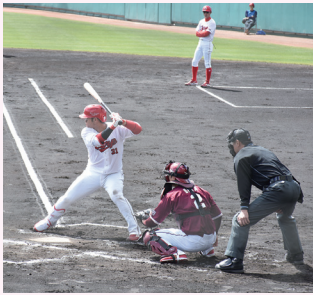


2/17
~28



「がががが がむしゃら」にチバリヨ〜!!

プロ野球セ・リーグ広島東洋カープの春季沖縄キャンプが2月17日からスタートし、同日、コザしんきんスタジアムで市や広島東洋カープ沖縄協会による球団歓迎式が開催されました。

式では、花束贈呈や果実などの目録贈呈が行われ、1年間この日を待ちわび駆け付けたファンたちの拍手で、チームカラーの赤に染まったスタジアムは歓迎ムードに包まれました。

桑江市長は「心より歓迎し、新井監督を迎えた新生カープの活動を楽しみにしております。沖縄市一丸となってサポートし応援します」と激励しました。

新井貴浩監督は「沖縄の好きな言葉である『なんくるないさ〜』には“どんなときも正しい道で努力を重ねていけば必ず報われる”という意味も込められていると聞いています。1年間の長い戦いが始まりますが、いい時よりも困難な時ははるかに多いと思います。そんな時はこの言葉を胸に、がむしゃらに頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします」とあいさつしました。

今シーズンのキャッチフレーズは「がががが がむしゃら」。厳しい練習にもくじけず泥と汗と涙にまみれ、がむしゃらに2023シーズンを戦い抜く!“がむしゃらの最上級”という思いが込められています。

2/12



ちびっ子もモータースポーツを体験

幅広い年代に向けてモータースポーツの魅力を体験してもらう事を目的とした「モータースポーツ体験フェア」が、モータースポーツマルチフィールド沖縄で開催され、多くの来場者が訪れました。

会場では、県内ディーラーによる自動車の展示会、バイクの展示・試乗会や、ちゃんぐる〜沖縄市大使の仲村優佑選手によるフルサイズバイクを使った迫力のデモランのほか、ちびっ子カート・バイクの同乗体験、ラジコン体験などが行われ、親子連れで賑わいました。

2/12



サッカーのレベル向上へ! 指導者養成

サッカー指導者の人材育成とさらなる競技水準の向上を目指すことを目的に、資格指導者養成「目指せS級ライセンス」の講話と、小・中学生対象のサッカースクールが沖縄市陸上競技場で開催されました。

日本代表コーチを務めた経歴を持つ、元S級ライセンス保持者の落合弘氏による講話、実技指導では元浦和レッズの酒井友之氏(A級ライセンス保持者)、西川優大氏(B級ライセンス保持者)によるゲーム形式のスクールが行われ、参加者は高いレベルのサッカーを学びました。

2/19



みんなで和気あいあい♪カローリング大会

沖縄市スポーツ推進委員会主催の「令和4年度カローリング大会」が、市立島袋小学校体育館で開催されました。

「カローリング」とは、カーリングを床で行うニュースポーツで、年齢を問わず誰もが参加できる魅力を知ってもらい、競技を通して地域交流・世代間交流をはかることを目的に開催され、参加者は和気あいあいとした雰囲気の中、試合を楽しみました。沖縄市スポーツ推進委員会の照屋孝会長は「大会を3年ぶり開催することができ、子どもたちの元気な声が聞けて良かった」と話しました。

特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ



2/22



祝・卒園☆シーサー絵付け体験

KinderRand代表の會澤輝幸氏より、海の子保育園園長組の園児25人に卒園イベントとしてシーサー絵付け体験がプレゼントされました。

プレゼントされたシーサーは、沖縄県文化功労者賞を受賞した陶芸家の宮城秀雄氏の作品。市役所正面入口に設置されているシーサーは、庁舎落成の際に宮城氏が寄贈したものです。

宮城氏からシーサーについての説明後、園児たちは好きな絵の具を選び、思い思いにシーサーの色塗りを楽しみました。

園児は「シーサーが割れないようにドキドキしながら塗った。かっこよくできた」「自分で作ったシーサーをお家に連れて帰るのが嬉しい」「筆で塗るのが難しかったけど、楽しかった」と笑顔で話しました。

海の子保育園の仲宗根和子園長は、「今年の生活発表会で首里城の歴史を基にした創作劇をしたが、今回はシーサーについて学ぶ機会となった。これからたくさん沖縄の歴史や文化に触れてほしい」と語りました。

2/11



ドローン&ものづくり体験 for KIDS

企業進出促進整備事業「ドローン&ものづくり体験 for KIDS」が、沖縄市ITワークプラザで開催されました。

こども達は、トイドローンを使用し、コントローラーと機体のペアリング、基本的な操作を習得。第2段階では、iPadでドローン操作のプログラミングを行い、マグネットを付けたトイドローンでお菓子取りなどに挑戦しました。

ものづくり体験では、ものづくりの大切さ・面白さを伝えるプロジェクト「にじいろのネジ」で、オリジナルキットを使ったロボットを制作。

楽しみながら、ドローン操作と、ものづくりに熱中しました。

2/18



大空に舞い上がれ～泡瀬の凧あげ

中城湾魅力づくりプロジェクト主催の「凧あげ」が、東部海浜開発地区「潮乃森」のビーチで行われました。

泡瀬地域の子どもたちは新春になると凧づくりに勤しみ、寒風の中での凧あげは地域行事として盛んで、季節の風物詩のひとつでした。同プロジェクトでは、地域の児童を対象に歴史や文化の学習として、凧づくりの指導や凧あげイベントを行っています。

今年は海の子保育園の園児や保護者など約60人が参加し、手作りの凧が大空に高く舞い上がる姿に、園児から歓声があがりました。

3/4



収穫から料理まで♪親子料理教室

幼児期・学童期の食生活の基礎を育み、子どもたちが自立した食生活を送れるようになるための食育体験として、親子料理教室が沖縄市福祉文化プラザで開催されました。

畑に入り自分たちの手で収穫した新鮮なトマトを使い料理した今回の教室では、農作物への感謝と大切さを学び、包丁などの調理器具を扱う経験や料理をする楽しさを体験しました。

子どもたちは自分達で料理した野菜たっぷりのスープをおかわりし「また参加したい」と嬉しそうに話しました。



特集

2/19



ゴミではなく『魅力のある』まちづくりを!

市中央のセンター自治会を中心に、地域の老人会会員・観光協会職員と地域外のボランティア等約30人が集まり、コザ・パークアベニューとゲート通り・商店街エリアにて「クリーンデー」として清掃活動が行われました。

パークアベニューの落書きされた柱や公共掲示板の塗り替え作業をメインに、ポイ捨てゴミの回収、街路樹の剪定や公園の草刈りなどを手分けして実施し、約2時間で30袋以上のゴミを回収しました。

松田健治自治会長は「まちを汚さない意識を皆が持つてくれるよう活動を続けていく」と述べ、参加者は「多くの旅行者が訪れる歴史と文化のまち『コザ』を“汚れたまち”ではなく“大切にされているまち”として記憶に残してもらいたい」と話しました。

コザのまちは、今年8月に開催されるFIBAバスケットボールワールドカップ2023に向けて『グリーンで魅力的なまちづくり』を目指し、地域市民と地元企業が努力を重ね、徐々に成果が見え始めています。

市政トピックス

2/11



カラダもココロもリフレッシュ!

「令和4年度ウォーキング教室～子育て・お仕事でなかなか運動できないあなたへ～」が沖縄こどもの国で開催されました。

講師は、スタジオカシータの健康運動指導士の津波古浩乃氏。教室では、「靴は正しく履きましょう。歩幅を十分にとって、身長半分の歩幅で歩くと良い」と指導を受け、琉球弧フィールドなどの園内を大人から子どもまで総勢29人で歩きました。

参加者は「動物を見ながら、歩き方の指導が受けられ、充実した時間だった」とウォーキング教室を楽しみました。

連載コラム

2/15



知花花織×キングスが着物でコラボ

国指定伝統的工芸品「知花花織」をより身近でたくさんの人に親んでもらうため、琉球ゴールデンキングスと知花花織事業協同組合がタッグを組んだ知花花織の『キングス帯』が完成し、沖縄アリーナにてお披露目会が行われました。

知花花織特有の「五・四」の花模様を両サイドにあしらひ、キングスのロゴとマスコットキャラクターのコーディーがプリントされ、「和」の枠に捕らわれないデザインが目を楽ませます。

商品開発に携わった組合員は「試合観戦には、ぜひ、この帯と浴衣を着用して楽しんでいただければ嬉しい」と笑顔を見せました。

市民カレンダー

2/19



家族で楽しむ♪ミニコンサート

「家族で楽しむ♪ミニコンサート～弦楽四重奏(カルテット)と絵本の世界～」が市立図書館で開催され、親子連れ51人が参加しました。

ミニコンサートは、クラシックのほかに、ディズニーやジブリ、童謡などの曲を演奏。子どもたちが一緒に歌う場面もあり、ほのぼのとした雰囲気の中、会場は素敵な音色に包まれました。

図書館職員による大型絵本の読み聞かせは、ピアノ演奏や楽器を使い、出演者が楽器を分かりやすく紹介するなど、趣向を凝らした演出で参加者を楽しませました。

おしらせ



2/1



一人でも多くの市民を守るために

沖縄銀行のコザ支店・美里支店が、沖縄市救急ステーションに認定され、美里支店で交付式が行われました。

沖縄市救急ステーション制度は、救命講習修了者の常時駐在や定期的な救命講習の受講、AEDの設置などの基準を満たす事業所に対する認定制度で、市民が安心・安全に暮らせる環境を整備し、救命率向上に不可欠な初期対応、応急手当の普及を目的としています。

平成26年1月からスタートし、今回4事業所目の認定となりました。

2/15
・27



カープを応援!議会でジャンパー着用

本市で春季キャンプを行う広島東洋カープを応援しようと、沖縄市議会の議員全員が赤色のカープジャンパーを着用して、市議会2月定例会が開会されました。

桑江市長をはじめ市職員も着用し、議場はカープの赤一色に。

今年の春季キャンプは、コザしんきんスタジアムで2月17日から28日まで行われ、その期間に合わせて15日と27日の2日間カープジャンパーを着用して本会議に臨みました。

今シーズンも、熱い声援を送りましょう。

2/25



あなたがオススメしたい一冊は?

高校生による知的書評合戦「ミニ・ビブリアバトル」が市立図書館で開催され、市内の本好き高校生6人が参加しました。

ビブリアバトルは、お勧めの本を紹介し、発表後にディスカッション、一番読みたくなった本を投票し、最多票を集めた本をチャンプ本とする本の紹介コミュニケーションゲーム。

チャンプ本に選ばれた『レモンの図書室』を紹介した稲嶺璃愛さんは、「大きな家に自分だけの図書館を持つ本好きな主人公に共感できた。ぜひ皆さんにも読んで欲しい!」と話しました。

3/4・5



多彩な作品を展示!合同作品展

「第47回沖縄市老人クラブ連合会・沖縄市生きがいつくり支援事業合同作品展」が、沖縄市老人福祉センターかりゆし園で開催されました。

老人クラブ会員と生きがいつくり支援事業受講者合わせて88人から、絵画、書道、編み物、手芸、木工品、琉歌、生花、陶器、折紙など多岐にわたる作品が出品。

ずらりと展示された数多くの力作に、多くの来場者が魅了されました。

3/4



ゆかる日、まさる日、さんしんの日

沖縄市障がい者福祉協会の三線サークル「うぐいす会」が、沖縄市社会福祉センターで「第1回さんしんの日～つくろう、広げよう、三線の輪～」を開催しました。

12時から16時の時報に合わせて、「かぎやで風節」を演奏のほか、琉舞や古武術、子どもエイサーなどの演舞が行われました。

三線サークルうぐいす会は、家にこもりがちな視覚障害者の交流や生きがいつくりを目的に、地域の各施設へ出向き慰問活動を行っています。

